

健康福祉

Q シニアカー普及への取り組み



A 〈民生部長〉

高齢者の日常生活を支援するため、介護保険制度に基づき、適切なレンタル利用に努めていく。

〔Q1〕 シニアカーについての利用者は、一年前の25台から15台と減少しているようだが、介護保険によるレンタルのみであり、自費購入の方についても把握していただきたい。また、困りごとなどを把握することで、安全が図られ普及もできるのでは。

〔A1〕 自費購入の方の台数や困りごとについての把握は困難である。介護保険利用者については、課題や利用目標をケアプランに位置づけ、達成状況について把握している。

〔Q2〕 一年前の質問の中で安全に走行するための道路整備は、県に予算がなくてできないということであった。財源不足を前面に掲げて、歩

道整備は不可能と決めつけるのではなく、高齢者が生き生きと行動できる対策を講じていただきたい。

〔A2〕 現在、新たな交差点の改良や道路改良時にはシニアカーなどの利便性を考慮して歩道のフラット化を進めている。段差のある町道の歩道についても少しずつ進めている。県に対しては改修工事の要望を続けていく。



▲ 車道を走るシニアカー

産業観光 まちの魅力

Q 3回目の質問になるが、次の百周年に向けた筆産業振興策の検討を



A 〈町長〉

筆組合との連携や工房の機能強化を図り、筆文化の継承や情報発信等の支援を行う。

〔Q1〕 町は側面的な立場ではなく、主体性を持つべきだ。確固たる日本の書道文化を確立すべきだ。熊野町の果たす役割は大きい。どのようか。

〔A1〕 行政としては、伝統的工芸品熊野筆の保護と育成、熊野筆のブランド力向上の二つの観点を中心に取り組みたい。また、来年度着手予定の筆の工房周辺の観光交流拠点施設整備等も併せて進めていく。

〔Q2〕 現状がそのまま推移すると、百年後には熊野から筆が消えるかもしれない。前回の回答で、広島を訪れる修学旅行生等への書道体験について、事務レベルで協議することだった

が、その後の状況を聞きたい。

〔A2〕 実現できていない。今年度、商工会において国内筆市場に関する需要動向調査を行っており、課題等を明確にしていく。

〔Q3〕 町長も「筆産業に係る思い切った政策が実行できていない」と述べている。マンネリ化を打破する目的で「産」(筆組合等)と「官」(行政)の間に「学」(大学・有識者)が入って、振興策を検討しないか。

〔A3〕 筆の存続を前提に、新たな筆産業の振興策も含め検討したい。産官学連携については、理論が先行することのない、実効性のある組織づくりを検討する。

道路交通

Q 出来庭地区の県道等の整備状況は



A 〈町長〉

県道の延伸及び町道の拡幅工事等は着実に進んでいる。

〔Q1〕 県道の延伸時期と2車線区間及び工事の進捗は。

〔A1〕 平成31年度までに熊野郵便局前までを片側2車線で、翌年度までに呉地区までを暫定片側1車線で整備予定で、用地の7割を取得済みと伺っている。(県から)

〔Q2〕 呉地区まで延伸したら役場前近県道の渋滞は解消するのか。また、その先の工事は。

〔A2〕 呉地区まで延伸してもその先が未整備となるため交通量に大きな変化はなく、呉地区から先の道路計画はあるが工事時期は未定と伺っている。(県から)

〔Q3〕 県道の渋滞対策は。

〔A3〕 平成32年度までに町民会館入口交差点、阿戸別れ交差点において右折又は左折レーンを追加する工事を行うと伺っている。(県から)

〔Q4〕 町道呉出来線の拡幅整備は。

〔A4〕 県道からゆうあいホームまでの間は順次拡幅工事に着手しているが、その先は県道バイパス工事が完了した後に整備を検討する。



▲ 出来庭地区の県道整備状況

生活環境

Q 上水道事業の今後の方向は



A 〈町長〉

県から示された広域連携を見据えながら、厳しい中でも現実的に対応していく。

〔Q1〕 県から示された水道事業の広域連携について、進捗状況及び今後の展望を問う。

〔A1〕 夏ごろから会議を重ね、説明や意見交換がされた。年内に広域連携案をまとめ、来年度に協議組織が設置されると聞いています。厳しい中で有効な施策案となると考えているが、まだその内容は見えていないので、今後の進展を見守る。

〔Q2〕 昨年3月の議会で水道状況を質問した。近年厳しい中でも10年は水道料金値上げなしで行けるとの答えだったが、変わりはしないか。

〔A2〕 変わりはない。

〔Q3〕 水道ビジョンが示されたが、その内容は非常に厳しいもので、莫大な更新費用が今後かなり財政検討が必要とあるが説明を求め。

〔A3〕 更新費用を抑える策を講じ、現実的な手法によって健全な運営は可能である。

〔Q4〕 今までにない規模での更新が時期を迎えようとしている。これに対し全体の予算編成を審議する必要があるのではないかと。これまでの水道事業単独会計で賄えるのか。

〔A4〕 水道料金を値上げせず、かつ安定的に供給するために、公営企業として努力する。一般会計からの繰り入れは最終手段と考える。